



発行
加賀保護区保護司会
事務所
加賀市大聖寺南町
ニ11-5番地
TEL (0761) 75-7428



「記憶」上映会 (令和3年3月4日)

本年度より加賀保護区保護司会長を務めさせて頂くことになりました。私が保護司になってからの代々の会長さん方は、厳しさと、温厚さ、誠実さ、几帳面さ、そして情熱を持ち合わせた方々ばかり。どれも私に無い「さ(差)」ばかり。汗をかけ、勉強せよということだと思えます。皆様のご鞭撻をお願い申し上げます。

当保護区では国に先立ち、大正六年、有志の方々により「江沼法徳会」が設立されました。そして昭和二十五年「更生保護法」が成立してから七十年の歴史が刻まれました。

その間の、諸先輩方の並々ならぬ熱意とご苦労に思いを馳せる時、唯々頭を垂れるばかりです。

私自身が対象者に向かう時、「我必ず聖に非ず、彼必ず愚かに非ず、共に是れ凡夫(たふびと)」の言葉が頭を過ぎります。そして「業縁(ごんごん)のもよほさば如何なる振る舞いもすべし」と言い聞かせながら、それでも何とか更生してほしいと力んで、つい自己の愚かしさを忘れた立場に立ってしまいがち。保護司の難しさを思い知らされます。

不安だらけですが、「井の中の蛙、大海を知らず、されど空の深さを知る」。多くの保護司仲間のご縁に恵まれて、人生の深さを教えて頂きながら、光輝高齢時に向かつて、今までにない楽しく豊かな時を共に歩ませて頂くのだ、と言い聞かせています。

コロナ禍中、色々な活動や会合が制限される時ですが、共に知恵を出し合い、私自身が今一度、保護司の原点に返って尽力させて頂きたいと思えます。



加賀保護区保護司会 会長 日下賢城

共に是れ凡夫(たふびと)ならくのみ…

令和三年度(第七十一回) 社会を明るくする運動 始まる

「社会を明るくする運動」の強化月間(七月)に合わせ、加賀保護区保護司会日下賢城会長らが加賀市役所を訪問。宮元陸市長に菅義偉首相のメッセージを伝達し、協力を求めました。



◆愛の封筒募金
◆啓発・広報活動
◆社明応募作品募集
◆親子標語、ポスター、習字、作文(市内小・中学校)
◆優秀作品の展示と表彰
◆作品展示
(六月三十日～七月三十一日)
(アビオシティ加賀にて)
◆ケース研究会(橋立中学校の予定)

◆有名作家チャリティ作品展
令和三年度第四十四回有名作家作品展が七月三十日(金)～八月二日(月)まで金沢エムザ二階「エムザギャラリー」にて開催されます。当保護区からも、地域の有名作家が多くの作品を寄附され、入札により更生保護の大切な資金として活用されます。

生きづらさを
しなやかに包み込む
コミュニティづくり

第44回 有名作家
チャリティ作品展

2021年7月30日(金)～8月2日(月)
10時～19時30分(最終日は15時終了)
入場 無料
金沢エムザ2F「エムザギャラリー」

主催：「有名作家チャリティ作品展」実施委員会
後援：第71回「社会を明るくする運動」石川県推進委員会
北國新聞社・石川テレビ放送・金沢保護観察所

第71回「社会を明るくする運動」
～犯罪や非行を防止し、立ち盛りを支える地域のチカラ～

金沢保護観察所 検索

トセンター(市民会館内)においても可能です。作品写真集を準備しておりますのでこの機会に、ぜひサポーターセンターをお尋ねください。

※なお入札は、七月三十日から八月十日までの土・日・祝日を除き、午前九時半～午後四時まで受け付けております。

人事進退

退任	3・6・9	和田 祥江 山代
新任	3・6・10	須谷 洋美 山代
		橋本 真琴 山代
		東出 智子 山代

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大がひとまず小康状態になり、二年ぶりに年次総会が開催されました。今後二年間の役員が承認され、新任の三人の保護司と共に今年度が動き始めました。

ワクチン接種も進み、高齢者の中には二回接種を終えた方も出始めました。

今の世界にはきつと、悩みながら、痛みや苦しみを感じながら、先の見えない日々を歩んでいる方は多いことでしょう。こうした状況だからこそ見えてくるものもあるのではないのでしょうか。私たちの手と知恵を使って築いたものは、信じています。どうか、考えながら、悩みながらも上を向いて歩いていきましよう。

五十号をお届けします。

募金 百貨店 (0761) 75-7428
「社会を明るくする運動」の取り組み
「ひまわり」が活動資金として募集委員会に寄付されます。

着任のご挨拶



金沢保護観察所長 金山 忠夫

加賀保護区保護司会の皆様には、平素より更生保護の諸活動に御尽力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。再犯リスクが高い満期釈放者に対する社会復帰対策の積極的な実施は、今年度の更生保護行政の重点事項の一つであり、保護観察所においても、生活環境の調整の充実等に努めているところで、生活環境の調整は、本人が調整の現

自主研修会と更生保護女性会との合同研修会

中谷 香代子

三月四日、セミナーハウス・アイリス大ホールにて、午前と午後二回に分けてドキュメンタリー映画「記憶」を上映しました。保護司五十一名、更生保護女性会六十名、他十六名、合計百二十七名の参加がありました。アンケートをお願いし百三名の方々から回答を頂きました。

- ①地域の人たちと共にセカンドチャンス...
②今後、研修会や自主研修会で学びたい企画をご提案ください。
③その他(感想も含む)
*親への支援機関など社会資源の開拓をしていく。
*更生を支援している人の活動を知らりたい。
*人としての温もりや優しさの原点となるものを学べる研修があるとよい。
*今後も保護司会と共に合同研修会をしたい。
*音声が悪く特に女の子の話が聞き取りにくかった。字幕があればよかったです。
*家庭環境について考えました。皆の居場所となる家庭づくりやそれができる社会でありたいと思う。
*映画の子が結婚して幸せになっているか?そのあとが気にかかる。

場にはないことによる難しさがあり、本人の思いと調整先の状況に大きな開きがあることも少なくありません。再犯リスクを高める要因となる出所時に帰る場所がない状況も避けるためには、満期釈放者についても帰住先を確保しておくことは重要であり、家族等が引き受けることができない場合、他に適当と考えられる帰住予定地の情報を家族等から得るなどして、出所まで調整を続けていく必要があります。また、行き場のない刑務所出所

者等の帰住先として更生保護施設の役割もますます重要になっていきます。今年度、県内唯一の更生保護施設である更生保護法人徳風苑の親和寮は、保護司を始めとする多くの更生保護関係者の御理解と御支援を得て改築工事を進めています。工事完了後は、更生保護施設を活用した帰住先確保に努めていきたいと考えています。結びに、引き続き保護司の皆様と共に諸施策に取り組んで参りたいと存じますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和三・四年度新役員承認

今年度年次総会にて、四月二十八日、加賀市民会館にて、感染予防に十分な配慮をしながら令和三年度年次総会が開かれ、今後二年間の新役員が承認されました。大杉欽一郎氏の後任として日下賢城氏が新会長に選任され、新たな顔ぶれで活動の更なる充実を目指します。

新役員紹介 (*は再任)

- 会長 日下 賢城
副会長 飯貝 壽代
大嶋 洋
大嶋 茂
新加千代子
山内 賢一
会 計 *宮崎 信子
補 佐 上出加喜子
大聖寺分区長 *山下二三夫
片山津分区長 木村 恒三
山代分区長 中川久爾彦
山分区長 村田 一美
研修部長 中谷香代子
広報部長 *呉藤登志子
地域活動部長 橋 博人
協力組織部長 *中村紀久枝

保護司と私

(山代分区) 和田 祥江



この度、私は二十五年間務めた保護司を定年で退任しました。

私事ですが、私は十代の両親の間に生まれました。昭和十九年は目前に戦争があり、明日にも父が招集されるとも知れない時代でした。両親は、若かったけれども一生懸命働いて私たち六人の家族の命と生活を守ってくれ、今の私が

西野 忠夫氏 藍綬褒章受章



令和三年春の褒章において、大聖寺分区

の西野忠夫氏が、永年の更生保護への多大な貢献が認められ「藍綬褒章」を受章されました。氏は平成三年以来三十年間、多くの保護観察と犯罪予防活動に多大な尽力をされました。

あります。

戦後は、田植え、山仕事、その他色々近所の方々を力合わせて乗り越えていく中で、子供たちをみんなで見守っていたように思います。私自身も、小川の傍らで野の花やカエル、カタツムリ、バッタ等が大好きで自然と共に大きくなりました。ご縁があり和田家に嫁ぎ、三人の子にも恵まれ数年が経った頃、野尻保護司から声掛けがあり、保護司としての一歩を踏みだしました。

主人は二〇一五年十二月に亡くなりましたが、私の一番の協力者でした。どんな時にも、保護司の仕事には全面的に応援してくれました。此処まで来れたのは主人のおかげです。二十五年務めた今、居てくれたら心からお礼を言えたのに、と毎日写真に話しかけています。

保護司生活を楽しく送ることができたのは、先輩保護司の方々や観察官の御指導があったおかげです。そして、何より対象者の一人一人の人生を一緒に歩ませていただいていたことに幸せでした。有難うございました。これからも皆様の活躍をお祈り申し上げます。

新会員紹介

新任保護司として



橋本 真琴 (山代分区)

私が保護司のお話を頂いたのは、今回が二回目です。前回はまだ自分や家族の事で毎日が精一杯で、お断りしたのですが、今回、再度先輩保護司の方からお話を頂き、自分にも何か社会のお役に立つことができれば、また色々な経験をすることで自分自身が成長できるのではないかと、思ったからです。でもまだ未知の世界、不安は一杯です。これから勉強しなければならぬ事は沢山あると思いますが、先輩方のご指導を頂き努力してまいります。どうぞよろしく申し上げます。

ご縁のある方へ



東出 智子 (山代分区)

私は今まで、親、家族全てが幸せで満ち溢れ、毎日感謝する事しかない日々を過ごさせて頂いておられます。保護司として役立つ経験が全く無い私に務まるのかと正直思うのですが、友人、知人は私にピタリのお役目だと言うのです。人は愛と恐れに左右されていて、

恐れが比重が多いと犯罪を起こすのだと思っております。

今の私に出来ることは、これから先、ご縁のある方に愛に満ち溢れる世界をお伝えして、その方の本当の幸せが何か、真正面から向き合い、寄り添って行けたらきっとその先には愛の温かさが伝わりと信じております。

新任保護司として



須谷 洋美 (山代分区)

このお話を頂いた時は、私に何ができるのか?保護司としての役目を果たせるのか?という疑問と不安な気持ちしかありませんでした。保護司という仕事、役目とは何か、と考え家族とも話し合った結果、私にできることがあるかもしれない、また地域に貢献できることがあるかもしれない。という気持ちに変わり、このお話をお引き受けする事に致しました。何も分からない無知な私ですが、先輩のアドバイスのもとに自分も成長して、一人でも多くの方のお役に立てるよう努めていきたいです。未熟な私ですが、どうぞ宜しくお願いします。